

九州森林管理局交渉(全国林野関連労働組合 九州地方本部)

(議事要旨)

1 日 時 平成27年6月3日(水) 16:15~17:15(60分)

2 場 所 九州森林管理局4階会議室

3 出席者

九州森林管理局	総務企画部長	堂本	整
〃	計画保全部長	吉永	俊郎
〃	森林整備部長	大政	康史
〃	総務課長	山本	博
〃	森林整備課長	古閑	博行
〃	資源活用課長	前田	三文
〃	総務課長補佐(総務担当)	松永	眞弥

全国林野関連労働組合九州地方本部	執行委員長	永山	博美
	副執行委員長	園田	清隆
	書記長	甲斐	和幸
	執行委員	山下	和也
	執行委員	古澤	寿光
	執行委員	中島	純也

3 交渉事項

- (1) 民国連携体制の構築と労働条件等について
- (2) 主伐・再造林と職員の労働条件について
- (3) 業務運営に係る労働条件改善について

4 議事概要

(1) 民国連携体制の構築と労働条件等について
組合) 民国連携の体制構築及び技術的支援のあり方については、業務の進め方を含めて職員の労働条件に大きく影響する事から、具体的対応策を示すこと。
また、事業収入や事業量の確保については、職員の業務負担増とならないよう努めること。

当局) 九州の森林・林業再生に向けて民国連携して取り組んでいるところ。本年度は、取組み内容を情報共有するため「民国連携推進プロジェクトチーム」を立ち上げ諸

課題について解決を図って参りたい。

また、事業量の確保については、職員の負担増とならないよう取組んで参りたい。

組合) 林野庁段階でもフォレスターの位置付けが明らかにされていないが、どのように進めて行くのか。

当局) 一般会計化以降、フォレスター制度に係る研修等を通じて、民国連携による県、国のコミュニケーションも増えてネットワークもできつつあり、九州は一枚岩となっていて良い方向へ進んでいると思っているところ。ご指摘を受けた事項については上部へ伝えて参りたい。

(2) 主伐・再造林と職員の労働条件について

組合) 主伐・再造林の拡大に伴い、職員の業務量が増加し、労働条件に大きく影響することから、想定される課題や課題に対する対応策を示すこと

当局) 主伐・再造林に伴い業務量が増加する中で、収穫調査、主伐検討リスト箇所の精査、再造林、事業体育成等様々な課題があるが、職員の労働過重とならないよう署等から意見を聞き、県、事業体関係者等と連携しながら課題解消に向け、努力して参りたい。

(3) 業務運営に係る労働条件改善について

組合) 職員の業務負担軽減に向けて、旅費・超勤予算及び再任用・非常勤職員の予算確保を図ること。

また、現場業務における臨時雇用の予算確保と勤務形態の見直しを行うこと。

当局) 九州局における平成26年度の超過勤務の実態は、昨年度より減少しているものの、特定の者、月によっては多いこともあったと認識している。各課、各署等の業務割振の見直しを含めた上で職員の負担軽減を図って参りたい。

また、臨時雇用の予算確保に努めるとともに、各種システムの円滑化、要員の確保、日々雇用の勤務形態の見直し等、実態にあった体制が構築できるよう努めて参りたい。